

平成22年12月定例議会

一般質問

(12月13日)

★教育長の所信について。

子どもたちを取り巻く環境が大きく変化している中で、成長を支え、夢と希望を抱き、自信を持つて主体的に生きていく子を育てることが教育の使命と考えます。学力形成にとどまらず、知・徳・体を兼ね備えた人間として、自己を実現できるよう、児童生徒にとって適正な規模で、教育を受けられる環境づくりが必要不可欠であり、鏡野町で育つてよかったと言える教育を推進していきます。

生涯学習では、多様なニーズに応え、家庭と地域との信頼関係を築いてい

くことが、地域の活性化に重要であり、学びの機会を提供するため、広く社会教育、スポーツ振興を図ることが大きな役割と考えます。

幼児期の保育・教育では、計画的な施設整備を行うなど、保護者のニーズを的確にとらえた保育サービスの充実と、就学前教育に取り組みます。

★教育長就任あいさつでの「学力の向上」「心の教育」をどのように考えているか。

22年度全国学力・学習状況調査で、本町の抽出校で全国平均を上回るものは中学校の国語Aだけ

となり、分析の結果、基礎的・基本的な知識や技能の習得と、その活用を図る取り組みが求められています。

教育長メッセージとして、各校職員に向けて「わかの喜びを実感できる授業」を実践し、各教科の指導にあたっては、言語活動の充実や学習意欲の向上を図るとともに、家庭とも連携して自主的・計画的な学習習慣を育て、子どもたちが主体的に学習に取り組み態度を養うように指示しています。

「心の教育」では、不登校、いじめ、暴力行為の未然防止のために、スクールカウンセラー事業等を導入し、子どもたちの悩み等を早く聞いて発見し、鏡野中学校では学校支援員を配置して巡回しながら未然防止に努めています。

★中学校の統合方針と進め方について。

統合検討委員会の答申

を尊重しつつ、教育委員会としての方針を決定しました。

①中学校は将来を見据えて、鏡野中学校1校とする。

②奥津・上齋原・富の3中学校を、5年を目途に鏡野中学校に同時に統合する。

③統合に必要な協議、調整を円滑に行うため、統合準備委員会の立ち上げを、関係者の理解を得て行う。

この方針に基づき、まずは奥津・上齋原・富地域の保護者を対象に説明会を開催し、ご意見をいただきたいと考えます。

★耐震強度不足の校舎等をどうするのか。

富中学校体育館は本年6月補正予算に計上して解体撤去、渡り廊下等の改修工事、体育倉庫の新設を8月末に完了しています。奥津・富中学校の校舎は、12月補正予算で、

耐震補強工事実施のための設計を行い、岡山県建築物耐震診断等評価委員会の評価をもらうべく、設計委託料を提案しています。中学校統合問題と切り離して、生徒の安全・安心対策を最優先します。

★幼稚園、保育園の今後の運営と整備方針について。

町立保育園・幼稚園のあり方検討委員会を設置し、その答申を受け、今後の整備方針を決定しました。芳野保育園・大野保育園の移転改築を考えており、芳野保育園では、保護者の就労の有無に関わらず児童を受け入れて、教育・保育を一体的に提供できる、認定こども園として新たに開園したいと考えています。他園は必要に応じて改修工事を行います。国の「こども園構想」が制度化された場合は、保育園・幼稚園の統合を検討する必要があります。